

## あとがき

この「あとがき」の原稿は梅雨の時期に書いていますが、東京地区に関しては、今年は梅雨の時期の雨量が少ないようです。本号が発行される頃は暑さも本格化しているでしょうが、水のほうは大丈夫でしょうか。

さて、今月号は「特定健診項目の標準化と今後の展開」と「輸血関連副作用」を取り上げました。「特定健診」は鳴り物入りではじまりましたが、本誌にも記載がありますように、その普及は満足できる状況ではなく、当初期待していたほどの効果も上げていないようです。わが家の状況を考えても、私自身は職場の健診で特定健診項目も検査していますが、専業主婦である家内は受診していないようです。受診率の向上は当面の課題であり、効果的な戦略を練る必要があります。

特定健診項目の標準化のほうは着々と進んでいるようで、ヘモグロビンA1cの日本糖尿病学会(Japan Diabetes Society; JDS)値から、米国HbA1c標準化プログラム(National Glycohemoglobin Standardization Program; NGSP)値への移行などは、その代表的な例でしょう。しかし、今後解決されるべき課題が数多く残っていることも、本誌に示されている通り

です。何百年後かに振り返ってみたとき、恐らく現在は臨床検査の創世記と位置付けられるのではないかと思います。20世紀に入って本格的に利用されるようになった臨床検査(検体検査)は、21世紀前半の時点では標準化も十分なレベルまで達成できていなかった、などと評されるのではないのでしょうか。この分野でのさらなる進歩を期待したいところです。

輸血もまた、20世紀に入って本格的に利用されるようになった治療法ですが、本誌に示されているように、その安全性は格段に向上しました。「輸血関連副作用」について数多くの事実が明らかとなり、これに対する対処法も大きく進歩しました。しかし依然として副作用の危険性は残っており、さらなる安全性を確保に向け、今後も対策は進歩していくと予想されます。ただ輸血に関しては、人工血液のように、これにかわる画期的な治療法が開発される可能性があるかと個人的には思っています。すなわち輸血は一時代を築いた治療法ではあると思いますが、いずれは過去の治療法になってしまうと考えるのですが、果たしてどうなるでしょうか。もちろんそれは当分先のことであり、われわれの次の世代以降の話ではあるでしょうが、(佐藤尚武)

|      |           |       |       |       |        |
|------|-----------|-------|-------|-------|--------|
| 編集顧問 | 河合 忠      | 菅野 剛史 | 濱崎 直孝 | 山中 學  | (五十音順) |
| 編集同人 | 猪狩 淳      | 池田 康夫 | 伊藤 喜久 | 大久保昭行 | 小沢友紀雄  |
|      | 片山 善章     | 軽部 征夫 | 坂本 穆彦 | 高橋 正宜 | 中 恵一   |
|      | 本田 武司     |       |       |       |        |
| 編集委員 | 山田 俊幸(主幹) | 岩田 敏  | 佐藤 尚武 | 三浦 純子 | 山内 一由  |

### 臨床検査 (第57巻第8号) 2013年8月15日発行(毎月15日発行)

発行 株式会社 医学書院  
代表者 金原 優  
〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23  
☎ 販売部直通 (03) 3817-5659  
振替口座 00170-9-96693  
☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712  
FAX (03) 3815-7802  
E-mail: rin-ken@igaku-shoin.co.jp

定価 2,310 円(本体 2,200 円+税 5%)  
2013 年年間購読料(送料弊社負担、税込、増刊号を含む 13 冊)  
冊子版 31,390 円  
冊子+電子版/個人 36,390 円 冊子+電子版/共有 41,100 円  
電子版/個人 31,390 円 電子版/共有 36,100 円  
担当 野中・金澤・田村・井上・能藤  
印刷所 (株)アイワード ☎ (011) 241-9341  
広告取扱 (株)東 広 社 ☎ (03) 3409-8803

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物  
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ・医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>